

再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担 当 課： 県央振興局道路第一課
 担当課長名： 荒木 健児

事業名	一般県道久山港線（久山工区）		事業区分	一般県道	事業主体	長崎県
起終点	白： <small>ながさきけんいさはやしくやままち</small> 長崎県諫早市久山町 至： <small>ながさきけんいさはやしくやままち</small> 長崎県諫早市久山町				延長	1.30km
事業概要	一般県道久山港線は、久山港周辺のスポーツパークいさはや、西諫早産業団地へのアクセス道路として整備することで、港周辺の有効活用や一般国道34号周辺道路の混雑緩和を目的としている。					
H27年度事業化	都市計画決定なし		H29年度用地着手	H30年度工事着手		
全体事業費	48億円		事業進捗率	55.6%	供用済延長	0.5km
計画交通量	7,800台/日（R22）					
費用対効果分析結果	B/C	総費用	（残事業）/（事業全体）	総便益	（残事業）/（事業全体）	基準年 令和6年
	（事業全体） 1.17 （残事業） 5.07	11.20 / 48.75億円 （事業費：10.87/48.42億円 維持管理費：0.33/0.33億円 更新費：0.00/0.00億円）	56.83 / 56.83億円 （走行時間短縮便益：52.68/ 52.68億円 走行経費減少便益：3.23/ 3.23億円 交通事故減少便益：0.91/ 0.91億円）			
感度分析の結果	【全体事業】 交通量変動：B/C=1.05-1.29（交通量±10%） 【残事業】 交通量変動：B/C=4.56-5.60（交通量±10%） 事業費変動：B/C=1.14-1.19（事業費±10%） 事業費変動：B/C=4.60-5.65（事業費±10%） 事業期間変動：B/C=1.12-1.22（事業期間±1年） 事業期間変動：B/C=4.85-5.31（事業期間±1年）					
事業の効果等	・地域間の交流推進（交流人口の拡大）					
関係する地方公共団体等の意見	諫早市より整備促進の要望があっている。					
事業評価監視委員会の意見	-					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	諫早市の中核工業団地において、ソニーセミコンダクタソリューションズ（株）の大型投資により、工場の規模拡張が実施されている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	令和5年度末までの事業進捗率は55.6%、用地進捗は100.0%と進捗しており、今後も工事を計画通り行い、令和8年度の事業完成を目指す。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	地元や関係機関との協力体制のもと、今後も工事を計画通り行い、令和8年度の事業完成を目指す。					
施設の構造や工法の変更等	終点部周辺の市道の工事期間中の通行止め期間を最小限にするため、水路の暗渠化を実施					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	事業の必要性を考慮した結果、事業継続が妥当と判断される。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

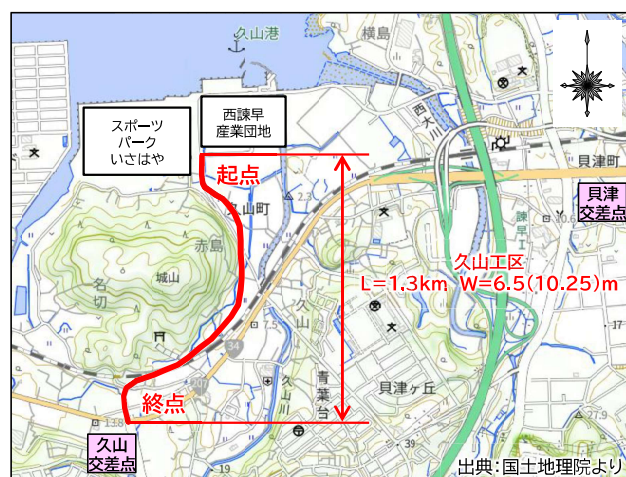
令和6年度 第1回 長崎県公共事業評価監視委員会

再評価対象事業

道建-3 道路改築事業
一般県道久山港線
(久山工区)

事業主体 長崎県

再評価の理由 再評価後変更(事業費・工期)



1

1. 審議経過

審議経過	再評価の理由	工期		事業費 (億円)	B / C	概要
		着工	完了			
当初 (H26新規評価)	—	H27	R3	20.0	4.90	【工事概要】 延長1.3km 幅員6.5(10.25)m
第1回審議 (R4年度)	事業採択後6~9年経過	H27	R7	45.0	1.28	【当初評価からの変更概要】 ・終点市道部の計画変更 ・ルート及び工法選定等に時間を要したことによる工期延長
第2回審議 (R6年度)	再評価後変更	H27	R8	48.0	1.17	【前回評価からの変更概要】 ・終点市道部の計画変更 ・ルート変更等に時間を要したことによる工期延長

2. 目的・事業概要・これまでの経緯

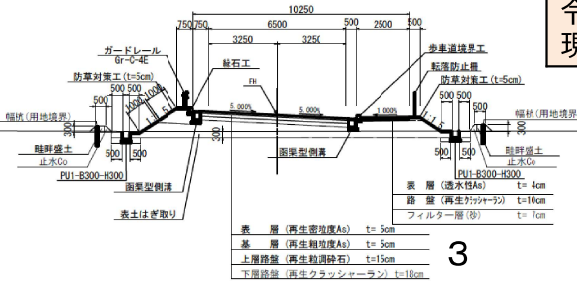
◆目的

一般県道久山港線は、久山港周辺のスポーツパークいさはや、西諫早産業団地へのアクセス道路として整備することで、企業誘致・地域振興を図り、また、既設道路からの交通転換を図ることで、周辺道路の混雑緩和による社会活動活性化を目的としている。

◆事業概要

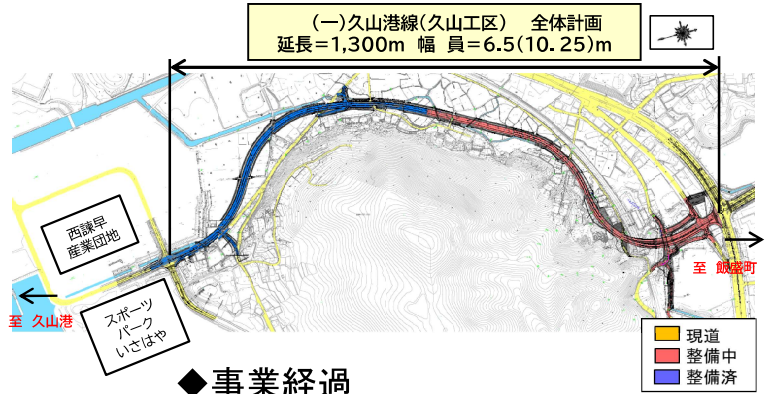
計画延長等	L=1.30km
幅員	W=6.5(10.25)m
計画交通量(R22)	7,800台

◆標準横断面図



◆事業経過

平成27年度	事業化・地元PI実施
平成28年度	地元PI実施・計画説明会
平成29年度	用地買収着手
平成30年度	工事着手
令和5年度末現在	520m供用開始済



【令和6年3月末現在】
事業進捗率 55%(事業費ベース)
用地進捗率 100%

3. 事業の効果・必要性

【整備目的】

- 交通転換による貝津町交差点の渋滞緩和
- 港湾・産業団地・レクリエーション施設等の臨海地区へのアクセス強化

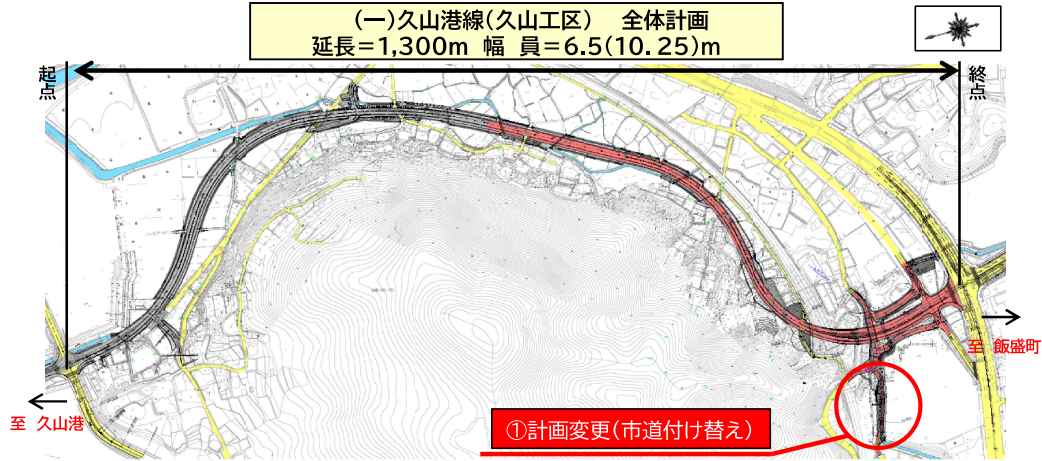
全体延長 L=1.3km
W=6.5(10.25)m

【久山港線整備による効果】

- ①久山港線の整備により、臨海地区の発生交通量が臨港道路に集中せず、分散が図られる。このため、大村貝津線の交通量が減少し渋滞緩和が図られる。
- ②久山港線のバイパス効果で、国道34号と大村貝津線の交通が転換し、貝津交差点の渋滞緩和が図られる。



4. 事業の進捗状況(事業費の見直し) 1/2



事業費:45億円(前回) → 48億円(今回)

事業費増の内容	増額
①終点側市道付け替えの計画変更に伴う工事費の増	約1.0億円
② その他(労務・資機材単価等の単価上昇に伴う増額)	約2.0億円
計	約3.0億円

5

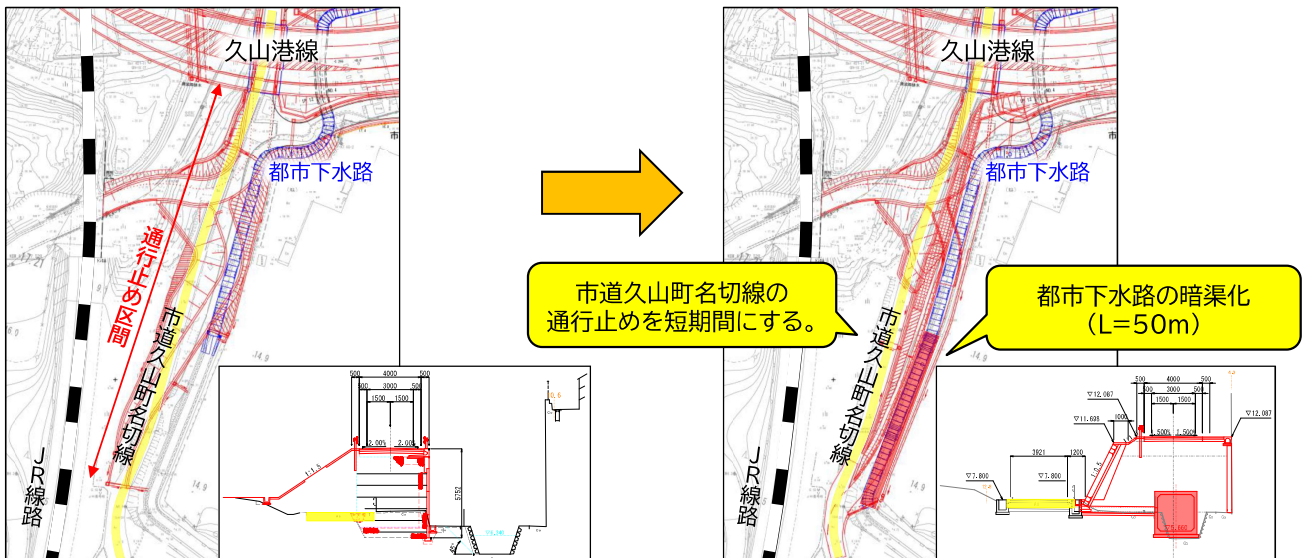
4. 事業の進捗状況(事業費の見直し) 2/2

① 終点側市道付け替えの計画変更に伴う工事費の増【+1億円】

・市道久山町名切線の付け替えにおいて、当初工事期間の通行止めによる付け替えを想定してたが、地元説明を実施した際に長期間の終日通行止めに対し反対された。そのため、都市下水路を暗渠化し通行止め期間を短期間になるルート選定をしたことにより、ボックスカルバートの追加となった。(+1億円)

【当初】

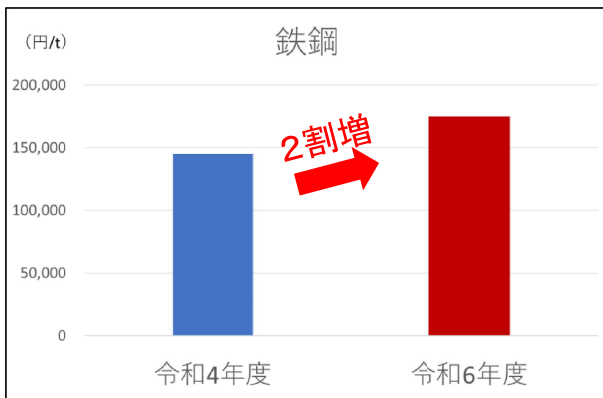
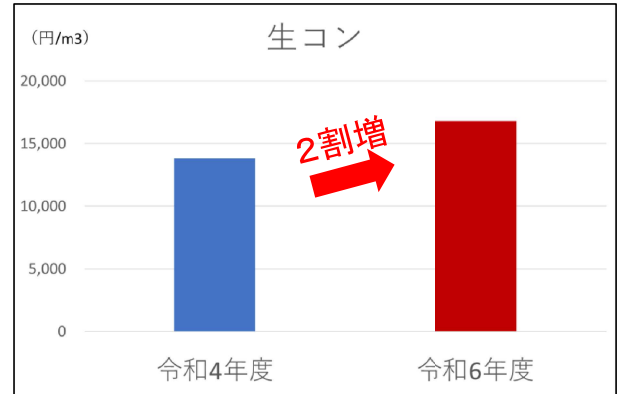
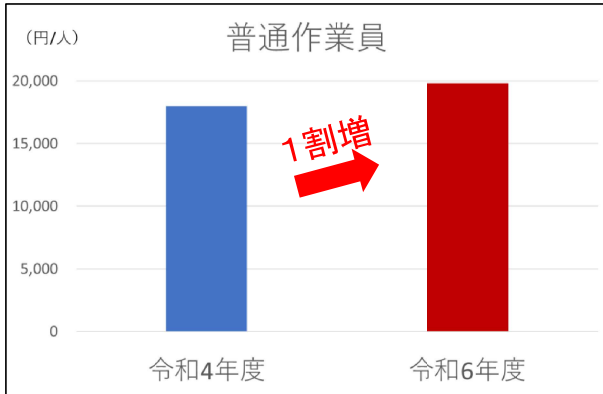
【変更】



6

4. 事業の進捗状況(事業費の増加)

事業費増の内容	増額	主な増額理由
②その他	約2.0億円	社会情勢の変化による労務費・資材等の単価上昇など(R4⇒R6増額分)



その他、資材などの増額分を計上する。

7

4. 事業の進捗状況(事業期間の見直し)

【完了工期】 R7年(前回)→R8年(今回)

- ・地元との市道切り替えの調整による延期
- ・補償内容の協議による延期
- ・工事追加による事業期間の延期

◆工程

前回

		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
地元調整	3年	■	■	■								
測量	3年	■	■	■								
地質調査	2年		■	■								
道路・橋梁設計	5年			■	■	■	■	■				
用地補償交渉	6年			■	■	■	■	■	■			
工事	8年				■	■	■	■	■	■	■	■

変更

		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
地元調整	3年	■	■	■									
測量	3年	■	■	■									
地質調査	2年		■	■									
道路・橋梁設計	6年			■	■	■	■	■	■				
用地補償交渉	7年			■	■	■	■	■	■	■			
工事	9年				■	■	■	■	■	■	■	■	■

8

5. 社会経済情勢等の変化

◆諫早市の中核工業団地において、ソニーセミコンダクタソリューションズ(株)が、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)長崎テクノロジーセンターの工場に令和2年度より大型投資を進めており、令和5年10月に最終拡張部分の工事を完了させ稼働している。拡張に伴い、さらなる交通量の増加が見込まれる。



長崎テクノロジーセンター外観(赤枠の建物が最終拡張部分)

	STEP1	最終拡張部分
稼働開始時期	2021年4月	2023年10月
延床面積	約48,300m ²	約53,000m ²
クリーンルーム面積	10,000m ² (5,000m ² × 2層)	約13,800m ² (約6,900m ² × 2層)

9

6. 事業の投資効果

◆ 費用対効果(B/C)

項目	前回評価 (令和4年度)	今回評価 (令和6年度)
残事業	2.93 = 54.89 億円 / 18.70 億円	5.07 = 56.83 億円 / 11.20 億円
全事業	1.28 = 54.89 億円 / 42.78 億円	1.17 = 56.83 億円 / 48.75 億円

〔費用〕

・道路整備に要する事業費、道路維持管理に要する費用

〔便益〕

・走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少

〔プラス要因〕

・特になし

〔マイナス要因〕

・事業費の増
・事業期間の延長

7. 対応方針(原案)

- ◆ 久山港周辺のスポーツパークいさはや、西諫早産業団地と国道34号を結ぶ幹線道路であり、本事業を行うことにより、企業誘致・地域振興や国道34号をはじめ、大村貝津線等の周辺道路の混雑緩和を図る事業である。
- ◆ 事業進捗率は事業費ベースで 55%[26.7億円/48.0億円]であり、用地進捗率は100%となっている。(令和6年3月末時点)
- ◆ 「諫早市」から整備促進を要望されている。
- ◆ 事業費の増額、事業期間の延長はあるものの、費用対効果が見込まれる。

